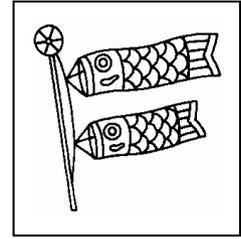


2009年春号

ぷらう 40号



発行: TEACCH プログラム研究会

「合理的調整」と「多様性は力」

TEACCH プログラム研究会会長 内山 登紀夫

昨年、イギリスの就労支援について少し勉強する機会がありました。イギリスでは、就労年齢の ASD の人が 33 万 2600 人いると推定されているそうで。そのうち、約 26 万人が知的には平均あるいは平均以上の水準の人々です。英国自閉症協会の調査では、英国に在住する ASD の人で常勤の仕事をしているのは「わずかに」6%、アスペルガー症候群および高機能自閉症の人のうち、フルタイムで雇用されている人は「なんと」12%に過ぎなかったそうです。これは、障害者全体の 49%と比較して、非常に低い数値です。

就職を希望しているにもかかわらず、チャンスを与えられていないアスペルガー症候群の人はまだ数多く存在していて、高齢化による技術者不足が進行する英国でアスペルガー症候群の人の労働力は貴重なのに、まだ活かされておらず、残念なことだと英国自閉症協会は考えています。でも、最近になって、少しずつではあっても ASD の就労支援が良い方向に向かってきました。そのために大きな役割を果たしたのは障害者差別禁止法(Disability Discrimination Act:以下「DDA」とする。)の存在です。では、差別禁止がどのように就労支援に結びつくのでしょうか？

DDA では障害者に対して「合理的調整(reasonable adjustments)」を行う義務を定めました。「合理的調整義務」とは職務上の取り決めや職場の設備の物理的特徴が、障害者に不利益を及ぼしているときに、雇用主は不利益を解消するために合理的な手立てをとる義務のことです。「合理的」とは、雇用主からみて「無理難題」というわけではない、「企業としての社会的責任の範囲でとるべき」手立てということのようです。DDA は、職場において障害を有する全ての職員に適用されます。一度、何らかの障害(当然アスペルガー症候群や高機能自閉症も自閉症も DDA では障害と見なされます)の診断が下されると、雇用主は、障害特性があるために不利に扱ってはならないし、職場に適應することを助けるような「合理的調整」を実行しなければならないのです。しかも、イギリス政府は、その配慮が車いす用のスロープ設置のような物理的アクセスに限定されないことを強調しているそうです。

ASDの人に対する合理的調整の例

ASD を支援する立場の私たちにとって「合理的調整」という概念は、かなり有用ではないでしょうか。ASD の人を対象にした職場における「合理的調整」の例を英国自閉症協会が運営する就労支援機関であるプロスペクツのスタッフに教えてもらったので、以下に紹介します。

- 職務の一部を別の職員に割り当てること
- 勤務する場所を構造化すること
- マニュアルを図示や箇条書きなどを加えて分かりやすく修正すること
- ジョブコーチなどの支援者を得ること
- 勤務時間の変更(例:ラッシュアワー通勤が困難な場合、出勤時間を調整する)
- より適切な地域や部門に配置転換すること

電話の代わりに電子メールの使用を雇用主が認めること。
明文化されていないルールを明文化すること
構造化された環境を設定すること
書面による指示や視覚化された指示を使うこと
チェックリストと、1日単位あるいは1週間単位のスケジュールの作成
職務内容の変更については事前に通知すること

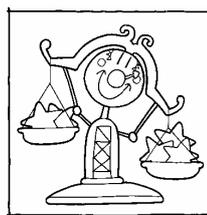
沢山の電話がある広いオフィスで電話がなると、どの電話が鳴っているかわからないアスペルガー症候群の人がいたそうです。プロスペクツのスタッフのアドバイスでその人が出るべき電話は点滅電話にしました。このように、ほんの少しの工夫の有無がアスペルガー症候群の人の就労可能性を大きく左右することもあります。

このようにみていくと ASD の人を支援する際には、建物の構造を変えるような大きな工事が必要なわけでも、高価な電子機器が必要なわけでもありません。上記の「調整」は、企業からみても「合理的」な範囲であると英国人は考えるわけです。別に自閉症の支援者だけが、そう思っているわけではないのです。

「合理的調整」をするためには ASD の特性を知っていること、ASD の人を個別に評価する方法を知っていること、個別の評価から個別の支援プランを立てられることなのです。TEACCH の考え方が役立ちますね。「合理的調整」とは、ASD について合理的に考えることが出発点です。

さらに、興味深かったのは「多様性は力(diversity is strength)」という考え方です。企業にとっても ASD を含む多様な人々を雇用するのは強みになるというのです。プロスペクツの人は ASD の人の苦手な点だけでなく、得意な点も雇用主に強調します。ASD の人への理解が雇用主にも同僚にも浸透するにつれて、ASD の人が会社にとって力になることが分かってきたそうです。それで以前よりも、ASD の人を積極的に雇用しようとする会社が増えてきているとのこと。プロスペクツのスタッフのバックグラウンドも多様で、心理や福祉だけでなく、物理学の出身者もいて、それが力になっているそうです。

「多様性は力」であることを認識し、「合理的な調整」を行うことができれば、ASD の人も、企業も、社会全体も利益を受けることができるかもしれません。



第 9 回 TEACCH プログラム実践大会 in 熊本を終えて

熊本支部長 服部 陵子

熊本での大会の前夜は春一番が吹き荒れ、講師のお一人を空港に出迎えたスタッフからは“ただ今、空港上空を旋回中・・・、着陸の目途はたたないそうです”との連絡が入り、“各地から参加される方たちは到着できるかなあ”とドキドキの幕開けでした。翌日から 2 日間は 20 度の陽気の中、予定どおり進行。会場も市の中央の公立施設を借り、割と快適に過ごしていただいたと思います。

内山登紀夫会長の挨拶のあと、1 日目は新澤伸子先生(大阪府発達障がい者支援センター)の基調講演と、坂本友昭先生(熊本県こども総合療育センター)の実践報告でした。新澤先生はノースカロライナ州と大阪府をデータで比較しながら、広域で高人口の大阪府で何ができるか、何をすべきかを検証しな

がら着々と実践を築かれたことを話され、先生の志の高さと実践の力に感動しました。先生の個人的資質はもとより、シヨプラー教授のもとで学ばれた自閉症支援の視点と鳥瞰的な見方の双方が基盤にあることを感じさせるレベルの高い講演でした。九州人にはない弁舌のやわらかさと、教育や行政と連携するに当たっての助言も興味深く、楽しい内容でした。

坂本先生の実践報告は県立こども総合療育センターが5年をかけて築いてきた県内療育拠点づくりの報告でした。坂本氏はTEACCH研究会熊本支部の初代会長であり、研究会で共に学んだ自閉症支援の視点が地域療育づくりの実践にも生かされています。

紙面の都合で2日目の実践報告の詳細は省きますが、「連携システムづくりを考える」のテーマに沿った活発な実践の報告でした(HP上の報告をご参照ください)。事務局から依頼した報告者の中には「自分を育ててくれたTEACCH研だから」と出題を快諾された方、また、「報告したことで自分の立ち位置をあらためて自覚した」と感想を述べられた方があり、事務局としては有難いことでした。熊本支部の会員も当地で各地の報告を聞くことができ感謝しています。とくに、「自分たちの実践だけでなく、周りとの連携に心を配ることの大切さを学んだ」との声があり、大会テーマが心に響いたことを感じました。

最後に運営についての感想です。何をいつ決めるのか？何をするのか？誰に聞けば分かるのか？等々、不慣れな者ばかりで手探りの連続でした。マニュアルがあり、途中で担当理事に直接話を聞く機会があれば良かったのだらうと思います。世話人の結束がなければ悲鳴をあげていたかもしれません。貴重な機会を有難うございました。

実践研究大会 in 熊本 実践報告を終えての感想

石川支部 笠合 竜明

まず始めに、今回の実践報告を後押ししていただいた石川支部の皆様、並びに今大会の準備をしていただいた熊本支部の皆様に感謝とお礼の意を述べさせていただきます。ありがとうございました。

実践報告をさせていただいて、改めて今大会のテーマである「連携」の重要性を痛感いたしました。私の実践報告は放課後の障がい児専門の学童保育のものでした。「学校」の分科会で発表させていただいたのですが、先に発表していただいた大阪支部の方々が上手くバトンを渡していただいたおかげで連動した報告ができました。感謝いたします。

地域の格差はあるとは思いますが、大きなネットワークを作るには、まず小さな行動から実践を積み重ね、周囲にそのアクションを知っていただくことがやはり大切なのだと感じました。福祉と教育がどうすれば連動できるのかを考え、いかに教育にそして家族、地域、行政に協力していけるかが益々求められてくると思います。TEACCHの理念をうまく伝え、その人に合ったオーダーメイドな支援が連携を生んでいけることを関係機関の皆様と共有していきたいと思っております。

このような若輩者の実践発表に耳を傾けていただき本当に感謝いたしております。「実践の石川」と感じていただけるよう、これからもまた石川支部内でも連携の輪を強めていきたいと思っております。とても勉強になりました。ありがとうございました。

暴風雨のち快晴！～実践研熊本大会に参加しました

東京支部 伴 光明

実践研前日、仕事を早めに切り上げて空路熊本を目指しましたが、あいにく大荒れの空模様。「着陸できないと機長が判断した場合は、出発地に戻ることもご了承ください・・・」のアナウンスに見送られて不安な出発。平静を装っても心の中はドキドキ・ヒヤヒヤ。案の定、「当機は熊本空港への着陸を断念いたしました・・・福岡空港に着陸し、以降は欠航といたします・・・」。

予定外の福岡空港着、気を取り直して博多駅で博多ラーメンを食べ、熊本まで特急有明 27 号はそれなりに快適、熊本着は 0:13。しかし、飛行機からの乗り継ぎ客が、駅前でタクシーに殺到し長蛇の列・・・ホテルに入ったのは 1 時を過ぎておりました。後で何うと村松先生も同様のご苦勞をされての到着だった様子です。なにしろ、無事に参加できてよかった！です。

さて、いよいよ実践研の開幕、アクトおおさかの新澤伸子先生の基調講演をうかがい、TEACCH の大事な視点を再確認しました。本人はもとより、自閉症児・者とその家族を支援する視点が何より大切な理念だ、ということです。そして、理念を実行するためには、国や自治体の施策を読み取って具体的なビジョンを展開していくことが重要だというお話に深く共鳴。私たち専門職にとっては特に心しておかなければならないことだと思います。ともすれば日々の支援・教育活動に目を奪われ、その時その時の達成感(自分にとっての)で満足してしまうことがあります。それだけでは、私たちの責任は果たしきれていない。毎日の支援や教育が将来にどうつながっていくのか考え、具体的なプランを作って行動をしていくことが大切なのですね。行政の長期プラン作成へのかかわりや、翌年度の予算編成につながる提言など、タイミングを計ってこそ効果的なものになります。的確な情報に基づいてタイムリーな提案をしていくことで、必要なサービスの実現に近づくことができる、と説得力のあるお話をうかがいました。地域の行政、教育委員会にお話をしていくためのちょっとしたコツ、上手にお付き合いしていくためのポイントも嫌味なく語ってくださる新澤先生、最大のポイントはそのお人柄であり、実践力なのだとは思いますが、「それなら私もやってみようか！」と思わせていただく語り口はさすがだと思いました。

懇親会では熊本支部の皆様の温かいご準備で楽しく交流をもたせていただきました。太平燕おいしかったです！二日目も熊本をはじめ九州各地の実践のお話をうかがい、大変刺激を受けました。ご準備にあたられた関係者の皆様、本当にありがとうございました。私も東京という地域との向き合い方をよく考えて、自分たちの暮らす地域の生活の向上に向けてがんばっていかなければならないなあ、と思いつつ、帰路は順調に羽田に戻りました。



熊本市電 2 日券を買ってたっぷりのってきました！



私にとっての熊本城は、加藤清正でも細川の殿様でもなく、“ウルトラマンティガ”。

「連携」について

福岡支部 内田 博昭

実践研究大会の今回のテーマが「連携」ということでした。以前私は、入所更生施設に勤めていました。連携ということは頭にはありましたが、利用者さんの支援に関して、他機関との連携というのがピンと来なくて、他の職員や保護者、主治医などの連携を考えていました。

昨年、私は生活介護事業所に異動になり、サービス管理責任者という役を任されるようになりました。生活介護事業所は、通所の施設で利用者さんが毎日通ってきます。また、利用者さんの中には、生活介護以外に、身体介護や移動支援など別のサービスを利用している方もいます。多くの支援が必要な方には、多くの事業所が関わっています。そして、地域生活支援センターが中心となり、支援会議や移行会議が開催されています。そういう会議に参加すると、「連携」ということが本当に必要で大切なことだと実感するようになりました。

入所施設にいたときは、何事も自分たちだけで解決しないといけないと思っていましたが、今は、何かあれば地域生活支援センターに相談でき、他事業所の方とも協力して支援を考えることができ、とても心強く感じています。その利用者さんを理解するための根底にTEACCHの理念があるためうまくいっているのだと思います。

実践研究大会に参加すると、他の地域の実践の話が聴け、とても参考になります。また、元気をもらいます。まだ参加されたことのない方は、ぜひ参加されるとよいと思います。



TEACCH研 HP

ホームページをいつもご覧になっていただき、ありがとうございます。今年度、ホームページ担当に新しいメンバーが加わりました。それに伴い、会員の皆様にさまざまな情報を提供できようデザインなどを変更してゆこうと考えています。また2月に行なわれ、実践研究大会(熊本大会)のご報告や来年1月に行なわれ、コラボレーションセミナー2010のご案内を順次アップしてゆきます。

ホームページアドレス <http://www.teacchken.com>

会員専用ページパスワード **SG64A7J**

(大文字でエス ジー ろく よん エー なな ジェー)

5月1日変更予定

会員パスワードは「ぶらう」発行ごとに変更してゆきます

TEACCH コラボレーション セミナー 2010

2008年1月に開催されたTEACCHコラボレーションセミナー2008は、ドカティ先生の講義をとおしてTEACCHの真価に触れ、さらにTEACCH研の会員の実践についてドカティ先生を交えて意見交換することで、深い学びを得ることができました。

第1回の成功をさらに発展させようと、2010年1月にTEACCH部の協力を得て、マリー・バーガディン氏をお迎えし、第2回のコラボレーションセミナーを開催することになりました。バーガディン氏は、現在はラーリーTEACCHセンター所長、過去には成人の居住施設であるCLLCの所長を勤められるなど成人期の自閉症の人への支援に豊富な経験をお持ちです。成人期はもちろん幼児期や児童期の支援にも役立つ示唆が得られると思います。多数の参加をお待ちしています。

講師：マリー・バーガディン氏（ラーリーTEACCHセンター所長）

日程：2010年1月30日（土）／31日（日）

会場：京都シルクホール（京都市営地下鉄烏丸線四条駅、阪急烏丸駅 下車すぐ）

参加費：会員 10,000円 非会員 15,000円

プログラム

■ 講演1

『成人期に充実した生活をおくるために—自閉症の人が身につけておくべき10のことがら—』

■ 講演2

『自閉症の人の役に立つために—支援者が習得しておくべき10のことがら—』

■ 実践報告とディスカッション

『青年期・成人期の実践』

TEACCH研の会員から日本の実践を報告し、バーガディン先生と情報や意見の交換を行います。

詳細は、秋に配布するチラシまたはホームページをご覧ください。申し込み方法もその際にお知らせいたします。お見逃しなく！



平成21年度

第1回理事会報告書

平成21年度第1回理事会は、2月14日(土)10:00~12:00くまもと県民会館パレアにて行われました。
参加理事:内山、村松、諏訪、宇山、榎原、伴、辻、谷中、北山、藤井、野畑、浅井、大西、草原、内田、
下川、岡本、小田、竹内、南前(事務局)

この理事会の決定事項および継続審議事項についてお知らせいたします。

議案1. 平成21年度理事および役割の確認

議案2. 平成20年度活動報告

議案3. 平成20年度会計報告、特別会計報告

議案4. 平成21年度活動計画

議案5. 平成21年度予算案

議案6. 石川トレセミの会計報告 : 谷中理事より

2008・8・22~24に実施された石川トレーニングセミナーの会計報告は承認された。

議案7. コラボレーションセミナー2010の実施案 : 村松理事より

日時、講師、内容、予算等について了承された。

議案8. 22年度の香川トレセミについて : 草原理事より

香川トレセミの実施時期、会場について検討された。

①平成22年8月6日~8日

②平成22年9月18日~20日 ①、②のどちらかの時期で実施することとなった。

議案9. ぷらう40号(2009年春号)に掲載する内容を決めた。

議案10. その他

1. 各支部の本部事務局担当順の確認

京滋→鳥取→大阪→神奈川→熊本→北海道→佐賀→愛知→石川→兵庫→東京→
滋賀→京都

2. 新入会員の手続きについて

詳細について事務局で再度土倉事務所とうちあわせし、各支部理事へ報告することになった。

3. 20年度各支部活動報告および会計報告

内山会長から今後の支部活動にお互いに参考としてほしいと感想と報告をいただき、
全支部資料は綴じて各支部にも渡された。

4. 次回 平成21年度第2回理事会は

7月4日(土) ハートピア京都にて午後1:00より開催することとなった。



平成21年度総会報告

日時：平成21年2月15日(日)11:15より、くまもと県民交流会館 パレアにて平成21年度の総会を行いました。

総会では、新理事と役員承認および以下の5点について会員の皆様の承認をいただきました。

*平成21年度理事および役割(☆…新理事)

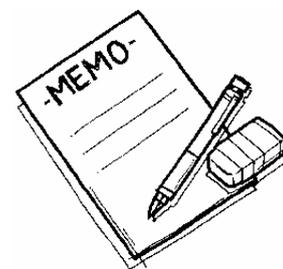
支部	役割	理事氏名
常任	会長・講師招聘事業	内山 登紀夫
常任	副会長・講師招聘事業	村松 陽子
常任	研修(トレセミ・実践研)	諏訪 利明
常任	副会長・HP 研修(トレセミ・実践研)	宇山 秀一
北海道		楢原 永都子
東京		☆黒田 美保
神奈川		辻 裕二
石川		谷中 美雪
愛知		☆北山 達成
滋賀		☆藤井 依子
京都	講師招聘事業	野畑 光代
大阪		浅井 郁子
兵庫	HP	大西 俊介
鳥取	事務局	竹内 美智子
香川		草原 比呂志
福岡		内田 博昭
佐賀		進藤 久見子
熊本	広報	今村 三奈子

*21年度の会計監査担当は引き続き小田浩三氏(熊本支部)と水野敦之氏(佐賀支部)をお願いすることになりました。

*常任理事として本会のためにご尽力いただいた新澤伸子氏は20年度をもって退任されることになりました。

平成20年度活動報告

- 1月6日(日) 平成20年度 第1回総務委員会(京都)
- 1月25日(金) 平成20年度 第1回理事会(京都)
- 1月26日(土)~27日(日) コラボレーションセミナー(京都)
- 1月26日(土) 平成20年度総会
- 4月 機関誌「ぶらう」38号発行
- 7月28日(土) 平成20年度第2回理事会(京都)
- 8月23(金)、24(土)、25日(日) トレーニングセミナー(石川)
- 10月 機関誌「ぶらう」39号発行



平成20年度会計報告

参照:平成20年度会計報告、特別会計
積み立て金会計報告

平成21年度活動計画

2月14日(土) 平成21年度第1回総務
委員会、理事会(熊本)

2月14日(土)~15日(日) 第9回実践
研究大会(熊本)

2月15日(日) 平成21年度総会

4月 機関誌「ぶらう」40号発行

6~7月 平成21年度第2回理事

10月 機関誌「ぶらう」41号発行

*上記以外、必要に応じて総務委員会を開
催する予定

*平成22年1月30日(土)、31日(日)にシ
ルクホール(京都)にて TEACCH 部よりマリ
ー・バーガディン氏を招聘しコラボレーション
セミナーを実施予定。

平成21年度予算案

参照:平成21年度予算案

新支部立ち上げの会則改定について

20年度第2回理事会にて承認。

(旧)第13条

各地域において、支部を結成しようとする
ものは、**会員名簿、会則**を会長に提出し
理事会の承認を得るものとする。 ↓

(新)第13条

各地域において、支部を結成しようとする
ものは、**会員名簿(10名以上)、会則**

活動計画案を会長に提出し、理事会の承
認を得るものとする。



平成20年度 TEACCHプログラム研究会 会計報告

*会計年度 平成20年1月1日~平成20年12月31日

<収入>

前年度繰越金	¥2,021,042
会費 *資料1	¥2,572,000
実践大会録売り上げ	¥900,000
第1回講師招聘事業奨金	¥619,617
利息	¥3,188
合計	¥6,115,847

<支出>

名簿及び会費管理費 (¥400×2,803名 + ¥200×327名)	¥1,106,600
通信費	¥10,510
総務委員会交通費	¥76,590
総務委員会会議費	¥4,277
理事会交通費(2回分)	¥727,610
理事会会議費(2回分)	¥19,742
ホームページ管理費	¥10,270
第1回講師招聘事業運営費	¥200,000
石川トレーニングセミナー運営費	¥200,000
第9回実践大会運営費(熊本)	¥200,000
第8回実践大会録作成費	¥420,000
第8回実践大会録発送費	¥22,050
振り込み手数料	¥4,965
雑費(事務局用品購入など)	¥1,132
特別会計積立金	¥1,000,000
合計	¥4,003,746

<収支>

収入¥6,115,847-支出¥4,003,746=¥2,112,101
 残金¥2,112,101は、次年度に繰り越します。
 以上の通り、相違ありません。

平成21年1月25日 TEACCHプログラム研究会 会計担当 南前 素子 (印)

平成21年2月2日 TEACCHプログラム研究会 会計監査 小田 浩三 (印)

平成21年2月5日 TEACCHプログラム研究会 会計監査 水野 敦之 (印)

平成20年度 TEACCHプログラム研究会 特別会計積立金 会計報告

*会計年度 平成20年1月1日~平成20年12月31日

<収入>

前年度繰越金	¥3,052,488
第1回講師招聘事業会場費予約金返金	¥450,200
一般会計より	¥1,000,000
利息	¥5,272
合計	¥4,507,960

<支出>

第2回講師招聘事業会場費予約金	¥450,200
手数料	¥840
合計	¥451,040

<収支>

収入¥4,507,960-支出¥451,040=¥4,056,920
 残金¥4,056,920は、次年度に繰り越します。
 以上の通り、相違ありません。

平成21年1月25日 TEACCHプログラム研究会 会計担当 南前 素子 (印)

平成21年2月2日 TEACCHプログラム研究会 会計監査 小田 浩三 (印)

平成21年2月5日 TEACCHプログラム研究会 会計監査 水野 敦之 (印)

各支部活動計画

北海道支部

<運営会議>

場所:北海道発達障害者支援センターあおいそら

件名	日時	内容
平成20年度 北海道支部総会	1.20	平成20年度事業報告 決算報告 監査報告 平成21年度事業計画(案) 予算(案)他
第1回運営委員会	3.10	企画研修会について
第2回運営委員会	4.21	企画研修会について
第3回運営委員会	10.6	企画研修会について
第4回運営委員会	11.10	企画研修会について・来年度計画について
第5回運営委員会	12.1	来年度計画について・平成22年度総会について

※平成22年度支部総会は H22.1.19(火)北海道教育大学附属特別支援学校にて開催予定

<勉強会・研修会>

件名	日時	内容	講師
第1回	1.20(火)	PEP3の紹介	つくしんぼ学級 坂田 貴宏 氏
第2回	5.9(土)	講演会「TEACCHの基礎(仮)」	それいゆ成人支援センター 水野 敦之 氏
第3回	6.27(土) ~6.28(日)	ワークショップ ※課題分析等を中心とした実習を行う ※オープン参加	※調整中
第4回	未定	札幌市講演会(共催)	※調整中
第5回	11.7(土) 11.8(日)	山口 薫 氏講演会(共催) ※詳細未定	星槎大学 山口 薫 氏
第6回	11.28(土)	実践報告会 ※オープン参加	※ワークショップ 6.27~6.28 の 参加者から

<会報発行>

件名	発行時期	内容
第1報	2月下旬	平成21年度総会報告、勉強会案内 他
第2報	4月	ぶらう(本部会報)
第3報	6月下旬	勉強会報告、勉強会案内 他
第4報	7月下旬	勉強会報告、勉強会案内 他
第5報	10月	ぶらう(本部会報)

第6報	11月下旬	勉強会報告、勉強会案内 他
第7報	12月中旬	勉強会報告、総会案内 他

石川支部

- ・ 1月18日(日) 第7回 総会 場所 金沢市文化ホール
講演会 ニキ・リンコさん(翻訳家・当事者) 藤家寛子さん(作家・当事者)
浅見淳子さん(花風社編集者)
- ・ 2月 8日(日) 9:30~12:30 第42回例会 場所 金沢市教育プラザ富樫
・講師 竹原隆文先生(富山県立となみ養護学校)「PECS の実践報告」
・事例検討会
- ・ 3月 8日(日) 9:30~12:30 第43回例会 場所 金沢市教育プラザ富樫
・実践報告 能登からの報告
・笠合竜明さん 熊本での報告
- ・ 4月26日(日) 9:30~12:30 第44回例会 場所 金沢市教育プラザ富樫予定
・「いしかわ TEACCH プログラム研究会の歩み」事務局より
・事例検討会
- ・ 5月17日(日) 9:30~12:30 第45回例会 場所 金沢市教育プラザ富樫予定
・実践報告 加賀からの報告 ・事例検討会
- ・ 6月21日(日) 時間未定 場所 金沢市教育プラザ富樫予定
講演会 講師 「そらパパ」こと藤居学さん
(ホームページ「お父さんのそらまめ式自閉症療育」主催、
著書『自閉症の子どもと家族の幸せプロジェクト』)
- ・ 7月12日(日) 時間未定 場所 金沢市教育プラザ富樫予定
講演会 講師 風花さきさん(当事者、元教員)
(服巻智子著『自閉っ子、自立への道を探る』花風社刊の中で服巻智子さんと対談)
- ・ 9月 6日(日) 9:30~12:30 第46回例会 場所 金沢市教育プラザ富樫予定
・小松方面からの実践報告 ・事例検討会
- ・11月 8日(日) 9:30~12:30 第47回例会 場所 金沢市教育プラザ富樫予定
・成人に関わっている方からの実践報告 ・事例検討会
- ・12月 6日(日) 9:30~12:30 第48回例会 場所 金沢市教育プラザ富樫予定
・事例検討会 ・その他

東京支部

	日程		講師・発表者	テーマ
1	3/7(土) 13:00~	定期総会 勉強会・親睦会	黒田美保	「自閉症の評価～PEP3をつかって」
2	4/26(日) 9:30~16:30	基礎講座 1	諏訪利明	「TEACCH 概要」「自閉症の特性」 「構造化」
3	6/14(日) 午前午後	基礎講座2	黒田美保	「評価」 「コミュニケーションの評価」
5	9/26 (土) 午前午後	演習	黒田美保	自立課題
6	11/15(日)	事例検討会	桐生昭文	未定

	時間未定			
7	12/ 日時未定	テーマ別勉強会		未定

・ 会場は、都合により変更することもあります。受講者の方には別途ご案内いたします。

神奈川支部

日時	内容	会場
2月14日(土) 15日(日)	第9回 TEACCH プログラム研究会実践研究大会 in 熊本 「連携システムづくりを考えるー現状と展望」	くまもと県民交流会館パレア
2月18日(水) 18:30～	◆TEACCH プログラム研究会神奈川支部 総会 【講演会】「TEACCH とは・・・」 講師 諏訪 利明	ふきのとう向生舎 3階
3月18日(水) 18:30～	【基礎】「自閉症の特性」 講師 諏訪 利明 【応用】ケース検討会	ふきのとう向生舎 3階
4月22日(水) 18:30～	【基礎】「構造化について」 講師 諏訪 利明 【応用】ケース検討会	ふきのとう向生舎 3階
5月20日(水) 18:30～	【合同】「地域支援の実際」 講師 佐藤 高志	ふきのとう向生舎 3階
6月17日(水) 18:30～	【基礎】「自閉症のコミュニケーションについて」 講師 諏訪 利明 【応用】「PEP-R の評価の取り方と考え方」 講師 深水 綾	おださがプラザ 多目的ルーム
7月12日(日) 10:00～16:00	【講演会】「成人期の支援」 講師 藤村 出	おださがプラザ 多目的ルーム
9月16日(水) 18:30～	【合同】「きょうだい児への支援」 講師 諏方 智広	おださがプラザ 多目的ルーム
10月10日(土)～ 12日(月・祝日)	神奈川支部ミニトレーニングセミナー * 詳細は決まり次第、お知らせいたします。	おださがプラザ 多目的ルーム
11月18日(水) 18:30～	【基礎】「行動マネージメント」 講師 五味 純子 【応用】「就労支援について」	おださがプラザ 多目的ルーム
12月9日(水) 18:30～	【合同】「CARS について」 講師 諏訪 利明	おださがプラザ 多目的ルーム

日程及び内容はあくまでも予定ですので、変更になる場合があります。

車で来所された場合は駐車場所に気をつけてください。また会場には十分なスリッパがありませんので、各自ご持参ください。※6月より会場が「おださがプラザ」に変更となります。ご注意ください。

おださがプラザ：相模原市南台3-20-1

小田急相模原駅北口 ラクアルおださが4階

TEACCH プログラム研究会 神奈川支部事務局
〒242-0022 神奈川県大和市柳橋 5-2-7 県央療育センター内 宇山
【Tel】 080-3250-2115 【FAX】 046-269-0067
【e-mail】 teacchkanagawa@yahoo.co.jp

愛知支部

日 時	内 容	会 場
2月7日(土)	愛知支部総会 講演『本当の TEACCH』 『診断・評価から実践へ』講師 内山 登紀夫先生	名古屋市 天白文化小劇場 終了
2月14日(土) ～2月15日(日)	第9回 TEACCH プログラム研究会実践研究大会 in 熊本 「連携システムづくりを考えるー現状と展望」 世話人より2名参加	くまもと県民交流会館 パレア 終了
6月6日(土)	講演会『就労支援について』(課題) 講師 梅永 雄二先生	ウィルあいち・ウィル ホール(名古屋市東区)
9月20日(日)～ 21日(月)	ミニトレーニングセミナー (期間中に公開講座開催予定)	東海学園大学(名古屋 市天白区)
11月(予定)	事例検討会 助言者 岡田 真子先生	交渉中

その他

会報 T-AICHI(たいち)発行・託児 講演会・総会などで年2回程度実施・会員による地域での勉強会 支援
ホームページ 運営・メールリスト 運営



滋賀支部

「基礎から学ぼう！～支援者のための基礎講座パート2」

今年度も滋賀支部では、「基礎から学ぼう！」をモットーに、例会で「支援者のための基礎講座」を開催することになりました。自閉症の特性やその支援について、もう一度基礎から学び直すとともに、自閉症の方々に関わる者同士がつながり、ともに考えることができるよう、ディスカッションの時間を充実させたいと考えています。会員はもちろん、会員外の方も気軽にご参加ください。

講演会「自閉症児者への関わりを振り返って」

年度の初めに、長年自閉症の子供たちに関わって来られ、今春、退職される予定のお二人の先生に、これまでの経験や考えて来られたこととお話しいたします。

◇日 時:3月14日(土) 午後1時30分～4時

◇場 所:近江八幡市人権センター《地図参照》

◇話題提供:県立三雲養護学校 井上悦子氏 & 県立近江学園 岡本裕子氏

◇参 加 費:会員は無料。会員外は500円。◇事前申し込み:不要。

★この日は午後4時より、滋賀支部年次総会を開催します。

講演会「特例子会社における障害者支援」

カルビー湖南株式会社では、障害を持つ人たちがそれぞれの障害特性に配慮した支援を受けながら、生き生きと働いています。一般企業における障害者支援の現状をご紹介します。

◇日 時:4月15日(水) 午後7時～9時

◇場 所:野洲市中央公民館《地図参照》

◇話題提供:カルビー湖南株式会社取締役 北村克家氏

◇参 加 費:会員は無料。会員外は1,000円。◇事前申し込み:不要。



例会「支援者のための基礎講座パート2」

原則、第3水曜日 午後7時～9時。場 所:野洲市中央公民館《地図参照》

- 1) 5月20日(水)「自閉症の特性理解 講義」
- 2) 6月17日(水)「構造化①」
- 3) 7月22日(水)「構造化②」※7月のみ、第4水曜日です。
- 4) 9月16日(水)「表出性コミュニケーション①」
- 5) 10月21日(水)「表出性コミュニケーション②」
- 6) 11月18日(水)「実践報告会」

◇参加費:会員は無料。会員外は1回500円。◇事前申し込み:不要。単発参加も可能。

※講義や実習は、滋賀支部世話人が分担して担当します。

※「自閉症研究会たんぼぼ」でも「支援者養成クラスルーム」が開催されます。

日時、場所等、お間違えのないようにご参加ください。

※日程や場所が変更になる場合があります。変更がある場合、前月の例会でお知らせします。前月に出席されていない場合は、会員には葉書等でお知らせしますが、会員外の方は下記事務局に、お問い合わせ、確認をお願いします。

◇例会時に入会受付もしています。入会金1,000円、年会費4,000円、事務手数料100円。途中で入会された場合、それまでの参加費はお返します。

<問い合わせ先> TEACCHプログラム研究会 滋賀支部事務局 磯山ひろみ
FAX 077-566-4925 E-mail fwpd2756@nifty.com

TEACCHプログラム研究会滋賀支部は、「NPO法人滋賀自閉症研究会たんぼぼ」の「自閉症理解のための連続セミナー」を後援します。TEACCH研会員は、このセミナーに、たんぼぼ会員と同等の参加費で参加できます。積極的にご参加ください。

「自閉症理解のための連続セミナー」予定(標題は仮題)

第1回目 5月16日(土)「自閉症の特性理解」 京都少年鑑別所精神科医 定本ゆきこ氏

第2回目 6月6日(土)「表出性コミュニケーション」 京都府立向日が丘養護学校 野畑 光代氏

第3回目 7月18日(土)「受容性コミュニケーション」

NPO法人それいゆ成人支援センター長 水野 敦之氏

※場所:ひこね文化プラザ

※時間:13:30～16:30

※参加費:会員、賛助会員 1,500円 一般 2,000円

※事前申し込み:不要

※お問い合わせ先:「NPO法人 滋賀自閉症研究会たんぼぼ」

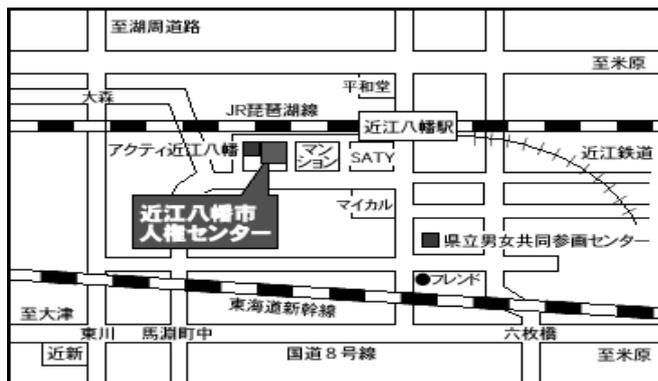
TEL/FAX 0748-32-0572(平日10:00～14:00 水曜休)

HP アドレス <http://www.geocities.jp/npotanpopo/>

会場案内

近江八幡市人権センター

近江八幡市鷹飼町南四丁目4-4
JR 近江八幡駅南口下車徒歩5分
電話 0748-37-8890



野洲市中央公民館

野洲市小篠原 2142
JR 野洲駅南口から西へ徒歩すぐ
電話 077-587-1125



京都支部

月日(曜日)	テーマ	講師	時間	会場	備考
1月24日 (土)	『高機能自閉症と アスペルガー症候群の理解と支援』	よこはま発達クリニック 内山 登紀夫氏	13:30～ 16:15	京都教育文化センター	終了
3月21日 (土)	『家庭での取り組み ～子育ての経験から～』	滋賀自閉症研究会 たんぼぼ 山中 真紀子氏	13:30～ 16:30	京都社会福祉会館 (京都市上京区堀川丸太町下がる)	終了
4月	機関誌『いまあじゅ』発行				
5月23日 (土)	『実践報告～TTAP 検査の実施と その後の支援～』	京都西陣会 松尾 浩久氏			
7月4日 (土)	『Aくんの事例を通して ～学校生活を支えるということ～』	和東町立和東中学校 亀谷 奈津子氏			
9月19日 (土)	『Kirala の実践から学んだこと ～総合支援学校のサマースクール～』	京都市立西総合支援学校 山本 洋子氏			
10月	機関誌『いまあじゅ』発行				
11月14日 (土)	『アスペルガー症候群・ 高機能自閉症の人の就労支援』	大阪府発達障がい者支援センター アクトおおさか 高橋 亜希子氏			

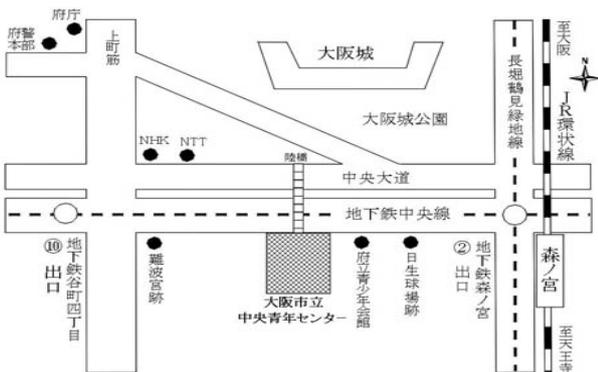
大阪支部

月	日	時間	支部主催の事業・内容・講師	会場 内容	会報の発行	総会、世話人会など
4月					「いまあじゅ」 発行予定	
5月	16日 (土)	14:00 ～ 16:30	講演「自閉症のお友だち」 講師 諏訪 利明氏 (海老名市立わかば学園園長)	会場 クレオ大阪東 (自閉症eサービス 共催)		

6月	6日 (土)	14:00 ～ 16:30	講演「青年成人期の支援」 講師 中山 清司氏 (自閉症 e サービス代表)	会場 大阪市立中央青年セ ンター 第2ホール		例会後総会 運営委員会
7月	11日 (土)	14:00 ～ 16:30	勉強会「評価」 講師 本谷 望氏 (自閉症療育センターLink 療育ス タッフ)	会場 大阪市立中央青年 センター1号研修 室		
8月	29日 (土) ～ 30日 (日)	9:00 ～ 17:00	ミニトレーニングセミナー(予定)	会場 わららか草部		
9月	12日 (土)	14:00 ～ 16:30	勉強会「構造化について」 講師 万田 久子氏 (大阪市立小学校 教諭)	会場 大阪市立中央青年セ ンター1号研修室		
10月	10日 (土)	14:00 ～ 16:30	勉強会「就労支援」 講師 佐々木 祐介氏 (ジョブサイトよど 支援員)	会場 大阪市立中央青年セ ンター1号研修室	「いま-じゅ」発 行予定	運営委員会
11月	14日 (土)	14:00 ～ 16:30	事例報告「実践報告～幼児期～」 報告者 安田 泰代氏 (池田市立やまばと園 心理士) 井上 芳子氏 (大阪市立発達障害支援センター エルム大阪 課長)	会場 大阪市立中央青年セ ンター1号研修室		運営委員会
12月	12日 (土)	14:00 ～ 17:00	講演「自閉症児のコミュニケーショ ン指導」 講師 坂井 聡氏 (香川大学教育学部 特別支援教 育講座 准教授)	公開講座 会場 クレオ大阪南		運営委員会

定例会 月例参加費 大阪支部会員 500 円 支部以外の会員 1000 円 非会員 1500 円

■ 大阪市立中央青年センター



所在地

大阪市中央区法円坂1-1-35

アクセス

- ・JR 森ノ宮駅: 西へ600m 徒歩10分
- ・地下鉄 森ノ宮駅(2番出口):
西へ500m 徒歩8分
- ・地下鉄谷町四丁目駅(10番出口):
東へ500m 徒歩8分

※大阪府立青少年会館が同じ並びにありますが、こちらは別の施設です。100メートルも離れていないので、お間違えのないよう、よろしくお願いいたします。

《TEACCHプログラム研究会大阪支部事務局》

大阪市発達障害者支援センター エルムおおさか

〒547-0026 大阪市平野区喜連西6-2-55

大阪市立心身障害者リハビリテーションセンター2F

FAX: 06-6797-6934

E-mail: hattatsu-shien@feel.ocn.ne.jp

(問い合わせはFax、Eメールにてお願いします)

兵庫支部

月	会員向け活動内容	会場
5/24	実践発表・事例研究、運営委員会 鶴海 周子	エコミール加美
7/	実践発表・事例研究又は講演会、運営委員会 未定	エコミール加美 又は明石市民会館
10/	実践発表・事例研究又は講演会、運営委員会 未定	エコミール加美 又は 明石市民会館
12/13	実践発表・事例研究、運営委員会 未定	エコミール加美
一般向け啓発活動・セミナー		
7月 又は 10月	「自閉症理解のために」 (内容・詳細検討中)	明石市民会館 明石市中崎1丁目 3-1 (予定)
<p>講演内容、講師の都合に合わせ、7月若しくは10月に講演会を開催します。 講演会が7月に開催される場合は10月が、講演会が10月に開催される場合は7月が、それぞれ「実践発表・事例研究会」になります。</p> <p>講演会の会場は明石市民会館、実践発表・事例研究会の会場はエコミール加美になります。</p>		

鳥取支部

月	日	時間	支部主催の事業・内容・講師	共催、 後援事業・内容	会報 の 発行	総会、 世話人会 など
1月	20日 22日	19:00 ~ 20:30 19:00 ~ 20:30	鳥取 年間の話し合い 境港 年間の話し合い			
2月	17日 26日	19:00 ~ 20:30 19:00 ~ 20:30	鳥取 年間の話し合い 境港 保育士さんをかこんで・輪読と 話し合い			
3月	17日 26日	19:00 ~ 20:30 19:00 ~ 20:30	鳥取 年間の話し合い 境港 サポートブック研修会・輪読と話 し合い			
4月	23日	9:00 ~ 20:30	鳥取 境港 構造化について・輪読と話し 合い			4日 定期総会

5月	19日 28日	19:00 ~ 20:30 19:00 ~ 20:30	鳥取 学習会「TTAPIについて」 森田 境港 ソーシャルストーリーズ・輪読と 話し合い	9日基礎講座「自閉 症の診断と特性」前 岡幸憲先生 30日基礎講座「環境 調整と援助の仕方」 山本清美先生(自閉 症協会主催)		
6月	25日	19:00 ~ 20:30	鳥取 境港 療育センタースタッフをかこん で・輪読と話し合い	7日 ガリレオ倉吉講 演会 井上雅彦先生(自閉 症協会主催)		
7月	21日 23日	19:00 ~ 20:30 19:00 ~ 20:30	鳥取 連続講義「自閉症・発達障害の 人への支援1」(予定) 境港 施設支援員をかこんで・輪読と 話し合い	5日基礎講座「問題 行動とコミュニケーシ ョン」井上雅彦先生 (自閉症協会主催)		
8月	27日	19:00 ~ 20:30	鳥取 境港 井上雅彦先生をかこんで・輪読 と話し合い			
9月	15日 24日	19:00 ~ 20:30 19:00 ~ 20:30	鳥取 連続講義「自閉症・発達障害の 人への支援2」(予定) 境港 叱り方について・輪読と話し合 い			
10月	22日	19:00 ~ 20:30	鳥取 境港 誉めることについて・輪読と話 し合い	25日'09自閉症カン ファレンス TOTTORI(自閉症協 会主催)		
11月	17日 26日	19:00 ~ 20:30 19:00 ~ 20:30	鳥取 連続講義「自閉症・発達障害の 人への支援3」(予定) 境港 感情コントロールについて・輪 読と話し合い			
12月	15日 24日	19:00 ~ 20:30 19:00 ~ 20:30	鳥取 反省会 境港 反省会・忘年会			

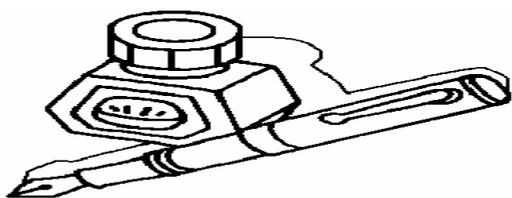
定例会

鳥取 奇数月 第3火曜日・場所 しらはま交流センター

境港 毎月第4木曜日・場所 陽なた*前半30~40分は勉強会、後半は輪読と話し合いです。

<輪読の書籍について>

「アスペルガー症候群の子育て200のヒント」ブレンダ・ポイド著 東京書籍



香川支部

月日 (曜日)	テーマ	講師	時間	会場	備考
2月22日 (日)	座談会: 「REIKOの部屋」 平成21年度新規会員総会	NPO法人ふぁみりいNOTE 丸岡 玲子 氏	10:00~ 12:00	香川県社会 福祉総合セ ンター	終 了
3月29日 (日)	「街が変わり、人が変わる！ 輝く地域社会を創るために」 (仮)	株式会社ミンク 本西 志保 氏			
4月19日 (日)	「自閉症の理解とTEACC Hプログラム」(仮)	香川大学教育学部附属特別支 援学校 西村 健一 氏			
5月17日 (日)	「家庭・地域での実践報告」 (仮)	NPO法人 ぶちすてっぴ 安原 氏			
6月21日 (日)	「特別支援学校での実践報 告」(仮)	香川大学教育学部附属特別支 援学校 滝澤 健 氏			
7月19日 (日)	「自閉症へのITを活用した 支援～困り感を軽減するヒ ント集」	香川東部養護学校 高原 淳一 氏			
9月21日 (日)	未定	あじの里地域生活支援センター 草原 比呂志 氏			
10月18日 (日)	「地球に優しい支援の作り 方～支援も省エネの時代で すから」	兵庫教育大学大学院学校教育 研究科助教 小川 修史 氏	13:00~ 16:00		公 開 講 演 会
11月15日 (日)	「自閉症のある子どもへ のコミュニケーション指 導について」	香川大学大学院教育学研究科 特別支援教育専攻 小島 慶子 氏	10:00~ 12:00		
12月20日 (日)	「自閉症への医療面からの アプローチ」(仮)	香川大学教育学部 繪内 利啓 氏			
毎月、例会終了後、2010香川トレセミ実行委員会を行う。					

福岡支部

月	活動内容	会場
2月	○第10回 TEACCH プログラム研究会実践研究大会(熊本)	くまもと県民交流 会パレア
3月	○自閉症スペクトラム実践研修会案内状送付	
4月	○自閉症スペクトラム実践研修会 内容:実践報告・実践研究大会報告 報告者:募集 アドバイザー:納富恵子(福岡教育大学)予定	西南学院大学

6月	○自閉症スペクトラム実践研修会案内状送付	
7月	○自閉症スペクトラム実践研修会 内容:実践報告 報告者:募集 アドバイザー:井上哲雄(西南学院大学)予定	西南学院大学
9月	○自閉症スペクトラム実践研修会案内状送付	
10月	○自閉症スペクトラム実践研修会 内容:実践報告 報告者:募集 アドバイザー:緒方よしみ(福岡市発達障がい支援センター)予定	西南学院大学
11月	○自閉症スペクトラム実践研修会案内状送付	
12月	○自閉症スペクトラム実践研修会 内容:記念講演 講師:未定 ○平成21年度総会	西南学院大学

※自閉症スペクトラム実践研修会の実践報告者は、随時募集する。

※アドバイザーについては予定であるため、変更される場合もある。

佐賀支部

期 日	内 容	講 師 (敬称略)	会 場
2月21日(土)	公開講演会	服巻智子	文化会館
3月 7日(土)	実践事例を通して 朝日山学園、伊万里養護、うれしの特別支援学校 ※終了後 支部総会	水野敦之	ほほえみ館
4月18日(土)	自閉症の特性について	進藤久見子	メートプラザ
5月23日(土)	公開講演会	梅永雄二	美術館ホール
6月 6日(土)	構造化について①	瀬尾裕子	未定
7月25日(土)	構造化について②	水野敦之	未定
8月29日(土)	アセスメントについて	水野敦之	未定
10月10日(土)	コミュニケーションについて	服巻繁	未定
11月7日(土)	社会性・余暇スキルについて ※終了後 代表者会	服巻繁	未定
12月12(土)	移行支援について	それいゆ成人 支援センター	未定
12月26~27日 (土・日)	佐賀支部トレーニングセミナー	服巻繁 水野敦之	未定

【問い合わせ先】

佐賀支部代表 金立養護学校 進藤久見子

TEL・FAX 0952-33-4887

E-mail kumikomm1023@yahoo.co.jp

熊本支部

期 日	研修内容・講師		備 考
1月17日(土)	支部総会	総会	
	勉強会	実践報告 「EACCH プログラムに学ぶ情緒学級の実践」 講師 乙丸リミ子先生(熊本市情緒学級担任)	実施済
2月14日～ 15日 (土・日)	実践研究大会 熊本大会	終了	県民交流会館パレ ア
4月18日(土)	基礎講座Ⅰ	「自閉症の特性と支援」 芦北学園発達医療センター小児科 有菌祐子先生	*スタッフ会議は各 研修会後に必要に 応じて実施予定。支 部会報も発行予定。
5月23日(土)	基礎講座Ⅱ	「構造化の実践講座(仮)」 堺市立御池台小学校支援学級教師 浅井郁子先生	
7月11日(土)	基礎講座Ⅲ (講演会)	「コミュニケーションの特性と評価」 (ピラミッド教育コンサルタントオブジャパン) 服巻 繁 先生 ※交渉中	
9月12日(土) (仮)	実践報告	内容検討中	
10月17日 (土)AM PM	ミニセミ事前学 習会	ミニセミ受講予定者限定・事前学習	
	家族による講座	家族世話人で検討し決定	
11月14～ 15日 (土・日)	ミニトレーニング セミナー	テーマ「構造化と生活支援」 トレーナー : 諏訪利明氏 (海老名市立わかば学園園長) : 諏訪氏推薦トレーナー	
H22年度 1月6日(土)	支部総会 ミニセミ報告会	総会 11月のミニセミ受講者による報告会	
H22年度2月		講演会を予定・内容検討中	

